伊江島米軍演習場でのオスプレイ・F35B ステルス戦闘機訓練強行に反対する決議

戦後、伊江島の 63%を占めていた米軍用地は「伊江島土地を守る会」の徹底した非暴力の闘いを経て、35%に削減されてきているものの常に米軍演習の最前線としての役割を負わされてきている。海兵隊や空軍などのパラシュート降下や重量物の投下訓練に使われ、フェンス外や農地への落下事故も頻発、強襲揚陸艦甲板に見立てた LHD 着陸帯での AV8B ハリアーの離着陸、MV22 オスプレイの夜間無灯火飛行訓練など米軍のやりたい放題の演習が繰り返され、長年村民や畜産への被害を強いて来た。

さらに米軍は、伊江村や村議会、隣接する真謝区、西崎区の反対決議を無視し、より危険な CV22 オスプレイの訓練導入とあわせ F35B 訓練に対応した特殊コンクリートでの舗装工事など半永久的に使用可能な着陸帯の拡張や駐機場設置工事を強行完成させた。

そして、2018 年 12 月 5 日強行された F35B ステルス戦闘機の離着陸訓練では多くの住民がその 100 デシベルに及ぶ轟音の大きさに驚くとともに、事前通告も無いまま繰り返される訓練と 12 月だけで 40 回に上る 90 デシベル超の騒音激化に耐えがたい怒りと負担増への不安を感じている。

住民の健康や、牛の異常出産など畜産へのさらなる被害拡大は必至であり、MV22 オスプレイよりさらに危険とされる CV22 オスプレイの訓練強行は、伊江島での観光産業、活発な民泊事業にも深刻な影響を及ぼす。

伊江島土地闘争の象徴である「団結道場」の改修・保存工事の完成を迎えた日でもある今日、伊江村内、県内各地、そして全国から集いに参加した私たちは、日米両政府に以下のことを要求する。

１．MV22 オスプレイ配備を撤回せよ。
２．F35B ステルス戦闘機・CV22 オスプレイの訓練を即時撤回せよ。
３．MV22 オスプレイ・F35B ステルス戦闘機等の着陸訓練による騒音被害に抗議する。
４．米軍艦船の伊江港入港・軍港化反対。

以上決議する。

2019 年 3 月 2 日

「伊江島米軍演習場でのオスプレイ・F35B ステルス戦闘機訓練強行に反対する集い」参加者一同